

## 中酪情報 No.607

2023年9月30日発行  
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議  
編集・発行人：寺田 繁  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1  
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

### 宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1  
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部  
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295  
<http://www.dairy.co.jp/>  
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

### 編集後記

令和4年度食料・農業・農村白書では、「食料の多くを海外に依存している我が国は、将来にわたって食料を安定的に供給していく上でターニングポイントを迎えている」、その要因として「穀物等の国際価格は、新興国の畜産物消費の増加を背景とした需要や、バイオ燃料等エネルギー向け需要の増大、気候変動の影響等により、近年上昇傾向で推移している」と述べられています。私たちの生命を支える「食」と、安心して暮らせる「環境」を未来に継承していくためには、気候変動など自然環境を取り巻く様々な問題から目をそらすことはできません。

ユニセフ（UNICEF：国連児童基金）は今年、13歳から18歳までの若者を対象に調査した政治に関する諮問報告書を作成し、公表しました。この報告書によると、次世代を担う若者の関心は、気候変動、世界戦争、貧困といった話題がトップ3を占めました。そのうち、若者にとって気候変動はこれまでで最も重要なテーマとなり、温室効果ガスに起因する気候変動に関する抗議活動が世界各地で毎日のように繰り返されているそうです。

今後、このような環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、わが国の農畜産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。